

令和6年度氷川保育園事業報告・決算報告(抜粋)

事業概況

令和6年度は、前年度より充足率が10%も減少し、運営費収入の大幅減となった。特に0歳児1歳児(乳児)の減少が著しく、「(都235,670円+町38,700円)×55名=15,090,350円減」となってしまった。運営を継続する為に、職員の解雇なども検討したが、都や町の基準で特別な保育を必要とする園児(困難児)の入園があった場合、奥多摩町では必要に応じて保育士を雇用するのが難しい為、現状の職員を雇用しつつ、経営を継続させる手段の検討が必要とされる。経営維持の為、令和7年度からは定員数を40名として、運営費収入の単価を上げる対策を行っているが、町全体の少子化により、令和7年度では、前年度より園児数が10人も減少している為、定員変更だけでは対応できない状況となってきている。国・都の補助金についても、町を通しての申請が多く、町の要綱にない補助金については、申請が後手に回る事もある為、町福祉課と柔軟な申請要綱の作成と対応の協議を進めている。

業務意識改革として、保育士一人一人の年間保育目標の設定を義務化して、自分の目指す保育目標を明確化した。目標に対しては、半期で反省を行い、全職員の面談を行ったうえで後期に継続する為の目標の再構築に努めた。

運営状況は、過疎化が進み園児数が減少している為、大変厳しい状況である。運営費に対する補助も国や都に直接申請できるものは少なく、町を通しての物がほとんどである。町の柔軟な対応と、要綱の策定を保育園側から進言して安定した保育運営に努める。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和7年3月31日
資産・負債の内訳		氷川保育園
I 資産の部		***
1. 流動資産		***
流動資産合計		23,364,419
2. 固定資産		***
固定資産合計		255,501,850
資産合計		278,866,269
II 負債の部		***
1. 流動負債		***
流動負債合計		4,049,520
2. 固定負債		***
固定負債合計		11,722,940
負債合計		15,772,460
差引純資産		263,093,809

拠点区分貸借対照表			令和7年3月31日
			氷川保育園会計
		借方	貸方
流動資産		23,364,419	
固定資産		255,501,850	
資産の部合計		278,866,269	
流動負債			4,049,520
固定負債			11,722,940
負債の部合計			15,772,460
基本金			17,970,000
国庫補助金等特別積立金			7,886,150
その他の積立金等			95,000,000
次期繰越活動収支差額			142,237,659
純財産の部			263,093,809
負債・純財産の部合計			278,866,269

拠点区分資金収支計算書			(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日
		勘定科目	氷川保育園会計
決算の状況	事業活動	事業活動収入計①	102,420,611
		事業活動支出計②	123,441,957
		事業活動資金収支差額③(①-②)	-21,021,346
	施設整備	施設整備等収入計④	0
		施設整備等支出計⑤	487,762
		施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-487,762
	その他の活動	その他の活動による収入計⑦	0
		その他の活動による支出計⑧	0
		その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	0
	予備費(⑩)		0
		当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	-21,509,108
		前期末支払資金残高⑫	40,824,007
		当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)	19,314,899

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。